

1. 調査報告概要表

作成日平成21年5月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	3470103544
法人名	有限会社藤山商事
事業所名	グループホームあい
所在地	広島市東区東山町15番2号 (電話)082-264-1006
評価機関名	NPO医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年5月20日

【情報提供票より】(21年4月24日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成15年8月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	13 人	専任1名 兼務12名 常勤換算2.2名	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋 7階建ての 階 ~ 3.4.5 階部分
------	------------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50.00 ~ 60.00(円)	その他の経費(月額)	円	
敷金	有()	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有200.000	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	450 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	150 円
	または1日当たり1.500 円			

(4)利用者の概要(5月 20日現在)

利用者人数	20 名	男性	3 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	6 名		
要介護5	2 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85.25 歳	最低	66 歳	最高	99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	ワカサリハビリ病院. 平岡歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内で閑静な小高い場所にあるグループホームで病院と併設している。3,4,5階の見晴らしの良い部屋がホームになっている管理者、職員は入居者の能力の把握、残存機能の維持の支援に取り組まれて、病院の医師、看護師と連携し健康管理をされて安心な生活が送れるようにしっかりと見守りがされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	病院の中のグループホームを家庭的な生活が過ごせるように職員は取り組まれている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 理念をしっかり理解し日々の業務に活かされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 入居者、家族、町内会の役員、包括支援センターの職員、管理者の参加で開催され状況報告をされている。参加者の意見はサービスの向上に実践されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の面会の際、気軽に話してもらえる雰囲気や馴染みの関係をつくりコミュニケーションを取り一緒に支え合うよう取り組みがみられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 場所的に地域との交流が少ないと思われるが、入居者と地域の交流がもてるよう、施設の行事にあわせて見学やボランティアの訪問を受けられることを期待します。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者本意の理念づくりを目指し、能力を把握し残存能力の維持の支援見守りをされ、安心の日々が送れるよう実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送りに同じ理念で実践に取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には年に3回参加し交流をされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	事業所の目指す入居者の機能の維持にむけて職員は統一を図り日々の実践に取り組まれている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、家族、町内会の代表、包括支援センター職員、グループホーム管理者の出席があり会議での意見や、提案をサービスの向上に活かされている。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームに訪問された際に実態を見てもらい質問をしたり、意見を聞き日々のケアに活かされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られた際、状況報告をし、家族の希望を聞き入居者に変化があればその都度伝えられる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの苦情があれば職員はミーティングをし、改善に努められている		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者と職員の馴染みの関係を大切にするためにも、異動、離職は少なくし、入居者に安心した日々が過ごせるよう配慮をされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は研修に参加し、研修の内容はスタッフに伝達し、現場では助言、指導をして日々の実践を学ぶ機会として指導されている。		研修、勉強会には出来るだけ多くの職員が参加されることを期待します
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に参加された時など管理者は話し合いをされているが、交流や相互訪問などはされていない。		外部との交流、学ぶ機会を同業者とも協働されることを期待します

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の生活歴を聞き、職員と関係づくりをし、環境に慣れることを大切に安心されることに努められる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中で声かけをし、入居者との会話から、よく聞き、受け止め共に支え合う関係をつくられている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者とのコミュニケーションをとり、希望に添えるよう支援されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者、家族、職員の意見、要望を聞き状況に応じた計画がつけられている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は柔軟に見直しがされて状況に応じた計画がつけられている。</p>		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院と併設されている為健康管理が十分できている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の病院の医療を受けられている。入居者の希望する医療機関に受診される支援もされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化された場合、併設の病院の看護師、医師の指示を受け変化に対応されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護には個人情報を厳重に管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れの中で入居者の希望に添った支援が出来るように思いを受け止め、支援されている。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片付けはできるだけ手伝って職員と関わりながらされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の状態に合わせて一般浴と特浴を行われ、ゆっくり入られて楽しめる方もあり、一人ひとりに合わせた支援がされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションや体操で体を動かし、音楽も楽しみ事であり、折り紙で作品をつくられて生活歴が活かされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族との外出支援はされているが、ホームからの外出支援はされていない。		ホームの中だけで過ごさず、気候の良い時期や、天気のよい日など公園や近くに散歩に出かける支援をされることを期待します。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけない見守りの支援がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は入居者と共に行われている(避難場所、順序、人数確認)消火器、消火栓、スプリンクラーの位置の確認がされている。		

グループホームあい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理者、職員はその日の入居者の状態を把握し、水分、食事量をしっかり確認されている。(刻み食、ミキサー食、とろみ食提供)		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生面には気をつけ、入居者にとって居心地よく過ごせる場となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の使い慣れた好みの物品が置かれている。		